

2018年7月17日(火)

協和エクシオ、福島県いわき市・遠野興産株式会社向け ペレット製造施設熱電併給設備工事が完成

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）では、廃棄物処理や水処理、リサイクル施設や木質バイオマス利用施設などの再生可能エネルギー施設の建設および運転・維持管理業務などの環境事業を展開しておりますが、このたび、遠野興産株式会社（本社：福島県いわき市、代表取締役社長：中野光、以下：遠野興産）から受注し工事を進めていた、木質ペレット製造施設熱電併給設備工事が完成しました。今後は試運転を重ねた後、引き渡し完了する予定です。

施設の竣工にあたり、6月26日、林野庁、福島県農林水産部、いわき市長をはじめとする来賓、当社を含む関係者などの出席のもと、竣工式が執り行われました。

今回当社が手掛けた工事は、遠野興産が自社工場内に建設を進めていた大型木質ペレット工場「遠野ウッドペレット工場」における、木質ペレットを製造する上で必要な熱と電気を供給する熱電併給設備の建設工事で、設備は木質バイオマスを燃焼する燃焼炉、熱を取り出すサーマルオイルボイラ、熱（温水）と電気を作る ORC ユニットで構成されています。

燃焼炉にはオーストリア・ポリテック社の製品を採用。サーマルオイルボイラの熱出力は最大 3,950kW で、約 250℃で循環するサーマルオイルを 310℃まで昇温させます。ORC ユニットは、イタリア・ターボデン社の製品を採用し、最大で 708kW の電力と 3,192kW の温水（90℃）を作ります。

当社では、今後も地球環境保全と循環型社会の形成に貢献する環境システムの提供を積極的に提案してまいります。

なお、今回の工事概要は以下の通りです。

《当社が手掛けた熱電併給設備工事の概要》

納入先	遠野興産株式会社	
施設名称	遠野ウッドペレット工場	
所在地	福島県いわき市遠野町	
設備規模	・サーマルオイルボイラ熱出力	3,950kW (th)
	・ORCユニット発電出力	708kW (el)
	・ORCユニット熱出力	3,192kW (th)
	※ペレット製造能力（別施設）	4t/h（年間最大30,000t）
設計・施工	株式会社協和エクシオ	



写真は、当社が手掛けた「遠野ウッドペレット工場」のボイラ設備と ORC 設備
(正面手前がボイラ設備で、その上に連結している建物が ORC 設備)

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先
株式会社 協和エクシオ

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-29-20 総務部 CSR・広報室

電話:03-5778-1075(直) FAX:03-5778-1228

担当:望月 政広